



高速しが

平成26年
6月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

もうすぐ梅雨のシーズンです 悪天時には、注意事項を守って安全運転を

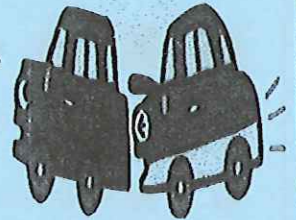


*むやみに進路を変更しない！

バックミラーについた水滴や他車の水しぶきなどで視界が悪くなり、走行車両の発見が遅れることで事故の危険性が増加します。

*速度を落として車間距離に注意！

雨の降り始めは特に路面が滑りやすくなります。スピードを落とし、前車との車間距離は長めにとりましょう。



*急ブレーキ、急ハンドルは厳禁！

雨で路面が濡れているときの摩擦係数は、乾燥時の2分の1となり、非常に滑りやすい状態です。

濃霧の時の運転

- ① 寒暖の差の激しい朝に発生しやすいので状況に応じた安全な速度に落としましょう。
- ② フォグランプ、前照灯（下向き）車幅灯を早めに点灯しましょう。
- ③ 道路形状を示す反射板やレーンマークで確認しながら運転しましょう。

強風の時の運転

- ① 速度を落として、ハンドルをしっかりと握りましょう。
- ② ハンドルをとられたら、慌てないで、ゆっくり正常な位置まで戻しましょう。
- ③ 落下物や飛来物に注意
- ④ トンネルや切通しの出入り口付近、橋上は要注意箇所です。



※ ハイドロプレーニング現象

水の溜まっている道路を走行する時、ある速度以上になるとタイヤの排水作用が間にあわなくなり、水上を滑走する状態となって、接地力が失われ車の操作ができなくなる現象をいいます。

その時は、ブレーキを踏まず、ハンドルをしっかりと握って、自然に減速するのを待ちましょう。

夜間の運転

- ① 昼間以上に車間距離を保ちましょう。
- ② 尾灯の車の動向をしっかりと確認しましょう。
- ③ 先行車・対向車がない時は、ハイビームにしましょう。



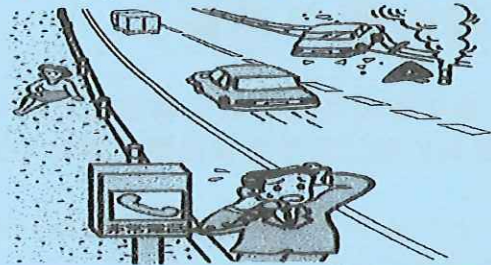
高速道路での交通事故多発！！

《高速道路上の思わぬ停止車両や人にご注意ください》

高速道路での事故は、事故・故障等で停止した車両に後続車が追突する「対停止車両事故」と、降車した人に後続車が衝突する「対人事故」で交通死亡事故全体の半数を占めるほか、深夜・早朝の時間帯に多く発生する傾向があります。

※事故・故障等で停止した際のお願い

- ◎ 後続車にハザードランプ・発炎筒・停止表示器材で合図する。
- ◎ 全員がガードレールの外など安全な場所へすみやかに避難する。
- ◎ 110番・非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）で通報する。
- ◎ 本線や路肩を歩き回らない。
- ◎ 事故当事者が道路上で話したりしないようにする。



※安全走行に関するお願い

- ◎ 渋滞後尾で停止・減速する際はハザードランプを点灯して後続車に合図する。
- ◎ 情報板やハイウェイラジオ等でこまめに道路情報をチェックする。
- ◎ 故障やトラブルが起きないように出発前には必ず車両点検をする。
- ◎ 前方の停止車両や人に注意する。

